

高校公民プリント（過去問類似）

公共（2025年～の共通テスト本試験） No.10

名前

得点

/10

問1 2019年に制定され、日本列島北部周辺、とりわけ北海道の先住民族を法律上初めて「先住民族」と明記し、その伝統や文化の振興、地域社会や産業の活性化などを総合的に推進することを定めた法律は何か。 （2025年 全国公立入試 類似）

1. アイヌ施策推進法 2. 部落差別解消推進法 3. アイヌ文化振興法 4. ヘイトスピーチ解消法

問2 感情の発生には生理的な覚醒とそれに対する認知的解釈の二つが必要であるとする理論を提唱し、アドレナリンを用いた実験によって、生理的変化の原因が説明されていない状況下では周囲の環境に合わせて感情がラベリングされることを実証した心理学者は誰か。 （2026年 全国公立入試 類似）

1. ミルグラム 2. エリクソン 3. ロジャーズ 4. シャクター

問3 日本国憲法第73条において、行政機関が外国との間で合意を形成し、それを国家として正式に結ぶにあたり、民主的なコントロールを及ぼすために必要とされる、立法機関が与える同意手続きを何というか。 （2026年 全国公立入試 類似）

1. 予算の議決 2. 国会の承認 3. 法律の制定 4. 条約の承認

問4 現代の民主政治において、単なる多数決による意思決定の弊害を克服するため、市民が多様なデータや客観的な根拠に基づき、互いの立場を尊重しながら理性的な議論を尽くし、お互いが納得できる合意形成を目指す話し合いのあり方を何というか。 （2026年 全国公立入試 類似）

1. 参加民主主義 2. 代表民主主義 3. 直接民主主義 4. 熟議民主主義

問5 人口減少が進む社会において、経済全体の規模が縮小または横ばいであっても、個人の生活水準の維持や向上を適切に評価するために用いられる、物価変動の影響を排除して算出された国内の総生産額を何というか。 （2025年 全国公立入試 類似）

1. 実質GNP 2. 実質GDP 3. 名目GDP 4. 名目GNP

問6 行為が道徳的に正しいとされるのは、それが同情心や自己の利益といった傾性（欲求）からではなく、ただ「なすべきだからなす」という純粋な義務感（義務への敬意）のみを動機としてなされた場合であると主張し、道徳法則を自律的に遵守する人格の尊厳を説いたドイツの哲学者は誰か。 （2026年 全国公立入試 類似）

1. カント 2. ルソー 3. ロック 4. コント

問7 国際連合において、安全保障理事会が常任理事国の拒否権行使によって機能不全に陥った際、総会が緊急特別会合を招集し、平和と安全の維持のために必要な勧告を行うことができるとした、1950年に採択された決議を何というか。 （2026年 全国公立入試 類似）

1. 植民地独立付与宣言 2. 平和のための結集決議 3. パレスチナ分割決議 4. 安全保障理事会決議

問8 1995年に発生した阪神・淡路大震災では、全国から多くの市民が自主的に被災地へ赴き、救護や復興の支援活動を行った。この出来事を契機に、市民による自主的な社会貢献活動への認知と参加が日本社会で飛躍的に進んだことから、この年は一般に何と呼ばれるか。 （2025年 全国公立入試 類似）

1. ボランティア活動 2. ボランティア団体 3. ボランティア休暇 4. ボランティア元年

問9 近代社会において、伝統的な共同体や宗教的権威から解放されて自由を獲得した個人が、孤立感や無力感といった不安に耐えかねて、自ら思考することを放棄し、強力な権威や他者へ同調・追従していく心理的メカニズムを分析し、ファシズムが台頭する背景を明らかにした、ドイツ出身の社会心理学者の著作は何か。 （2026年 全国公立入試 類似）

1. 孤独な群衆 2. 全体主義の起源 3. 大衆の反逆 4. 自由からの逃走

問10 現代アートにおいて、従来の彫刻や絵画のように作家自らが手を加えて美的な調和を作り出すのではなく、既製品をそのまま、あるいはわずかな加工のみで展示空間に置くことで、視覚的な美しさがなくとも鑑賞者の思考を刺激し、心を動かすことができるとした芸術上の概念を何というか。 （2025年 全国公立入試 類似）

1. ボディ・アート 2. レディ・メイド 3. ポップ・アート 4. ランド・アート

答え合わせ・解説 No.10

問1	答え 1 アイヌ施策推進法	2019年に制定されたこの法律は、それまでのアイヌ文化振興法に代わり、アイヌの人々を法律上初めて「先住民族」と位置づけた。これにより、伝統文化の振興だけでなく、地域振興や産業の活性化、さらには差別禁止などを盛り込んだ総合的な施策が推進されることとなった。1899年制定の北海道旧土人保護法による同化政策や、1997年制定のアイヌ文化振興法による文化擁護の歴史を経て、先住民族としての権利を尊重する新たな法的枠組みが構築された。
問2	答え 4 シャクター	ジェローム・シンガーとともに感情の二要因理論を提唱した心理学者である。実験では、アドレナリンを注射された被験者のうち、薬の効果について正しい説明を受けなかったグループが、周囲にいるサクラの陽気な振る舞いに同調して楽しい感情を抱くことが示され、生理的变化への認知的解釈が感情の決定に重要であることが実証された。
問3	答え 2 国会の承認	条約の締結権は行政を担当する内閣に属するが、条約は国民の権利や義務に重大な影響を及ぼすため、国民の代表機関である国会が関与する必要がある。憲法は、条約の締結にあたって「事前又は時宜によつては事後に、国会の承認を経ることを必要とする」と規定し、民主的統制を確保している。
問4	答え 4 熟議民主主義	多数決による意思決定は迅速である一方、少数意見の切り捨てや対立の固定化を招く恐れがある。これに対し、十分な情報をもとに市民同士が理性的な対話を重ね、互いの立場への理解と納得を通じて合意形成を図るプロセスが重視されるようになり、この意思決定のあり方が提唱された。
問5	答え 2 実質GDP	人口減少下では、経済全体の規模を示す名目値が減少しても、物価変動の影響を除いた実質的な生産活動の規模が維持され、あるいは一人当たりの値が増加していれば、生活水準の向上は可能である。したがって、物価変動の影響を除外した実質GDP（実質国内総生産）が、経済の実質的な動向を測る指標として重視される。
問6	答え 1 カント	行為が道徳的に善であるための条件として、目に見えない内面的な動機を重視した。単に結果が義務にかなっているだけ（義務合致的）では不十分であり、義務に対する純粋な敬意からその義務を果たすという動機（義務に基づく行為）のみを道徳的に善とした。自らの理性によって立てた道徳法則に自発的に従うことを「自律」と呼び、これを行える主体を「人格」として尊重した。
問7	答え 2 平和のための結集決議	安全保障理事会が常任理事国の拒否権行使により、国際平和の維持という主要な責任を果たせない場合、総会が緊急特別会合を開き、加盟国に対して集団的措置を含む適切な勧告を行うことができる。1950年の朝鮮戦争の際、ソ連の拒否権行使によって安全保障理事会が機能不全に陥ることを回避するためにアメリカなどの主導で採択された。
問8	答え 4 ボランティア元年	1995年の阪神・淡路大震災において、延べ100万人を超える市民が自主的に被災地支援に駆けつけた。この出来事は、日本において市民による自主的な社会貢献活動が広く定着する契機となり、同年に特定非営利活動（NPO）への関心が高まるなど、市民社会の形成に大きな影響を与えた。このことから、1995年は「ボランティア元年」と称されている。
問9	答え 4 自由からの逃走	第一次世界大戦後のドイツにおいて、民主的なワイマール憲法下でありながら、なぜ人々がナチズム（ファシズム）という全体主義を支持したのかを、精神分析の視点から分析した。近代的な自由を得た大衆が、孤独や不安から逃れるために、強大な権威に自発的に服従してしまう心理を指摘した。
問10	答え 2 レディ・メイド	マルセル・デュシャンが提示したこの概念は、芸術作品が作家の卓越した技術や美的な外見に依存するものであるという伝統的な見方を否定した。既製品を本来の文脈から切り離して展示することで、鑑賞者に新たな意味や問いを投げかけ、思考を揺さぶる現代アートの重要な手法となった。